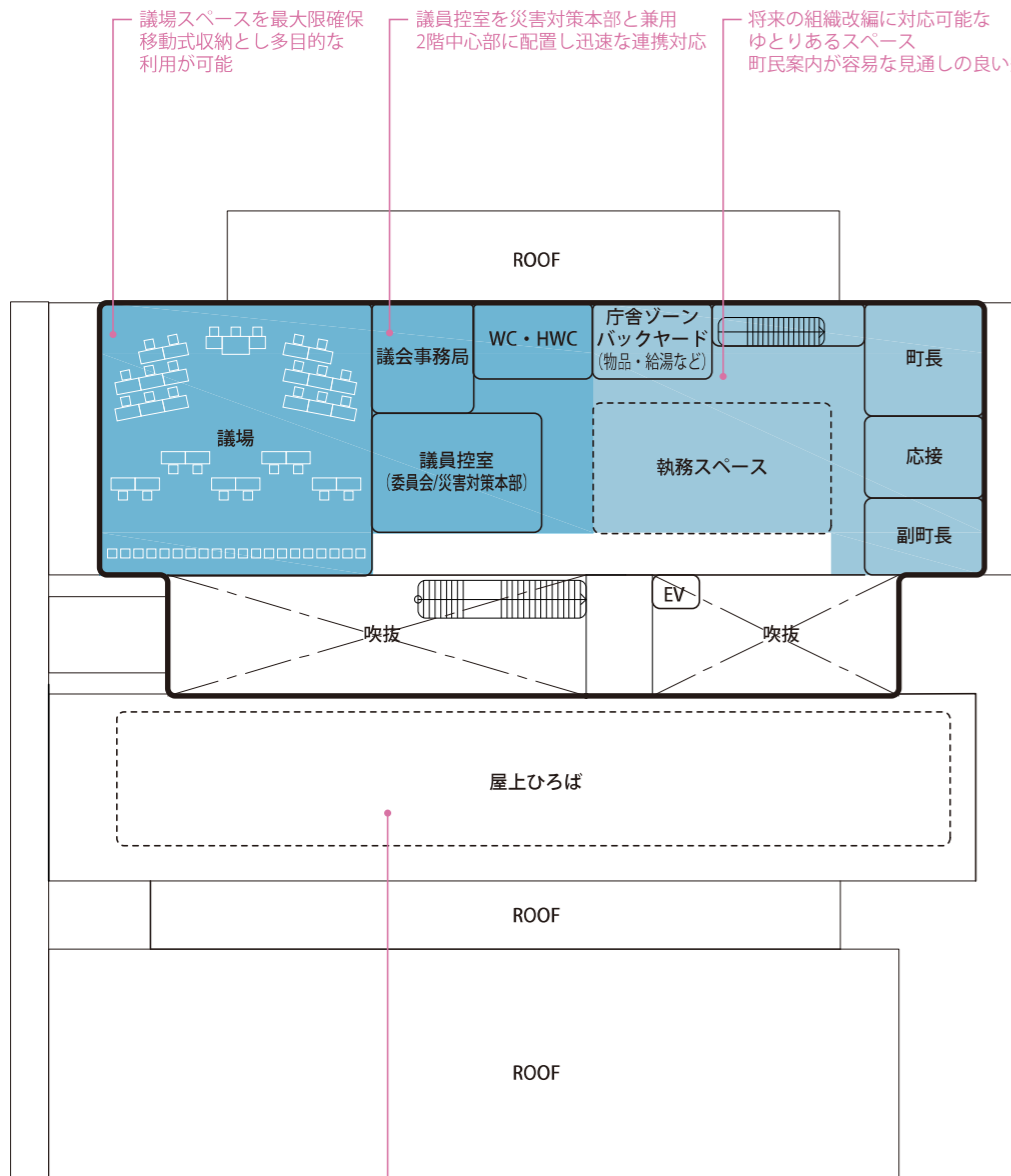
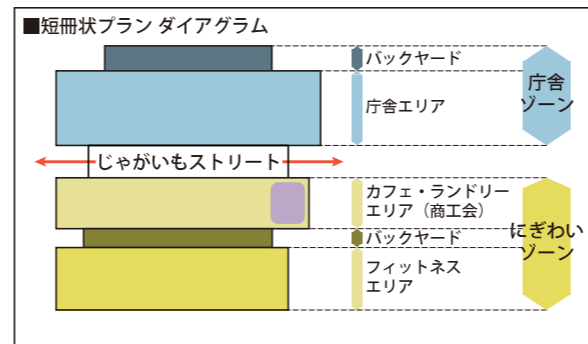


## まちとつながるコンパクトな複合庁舎

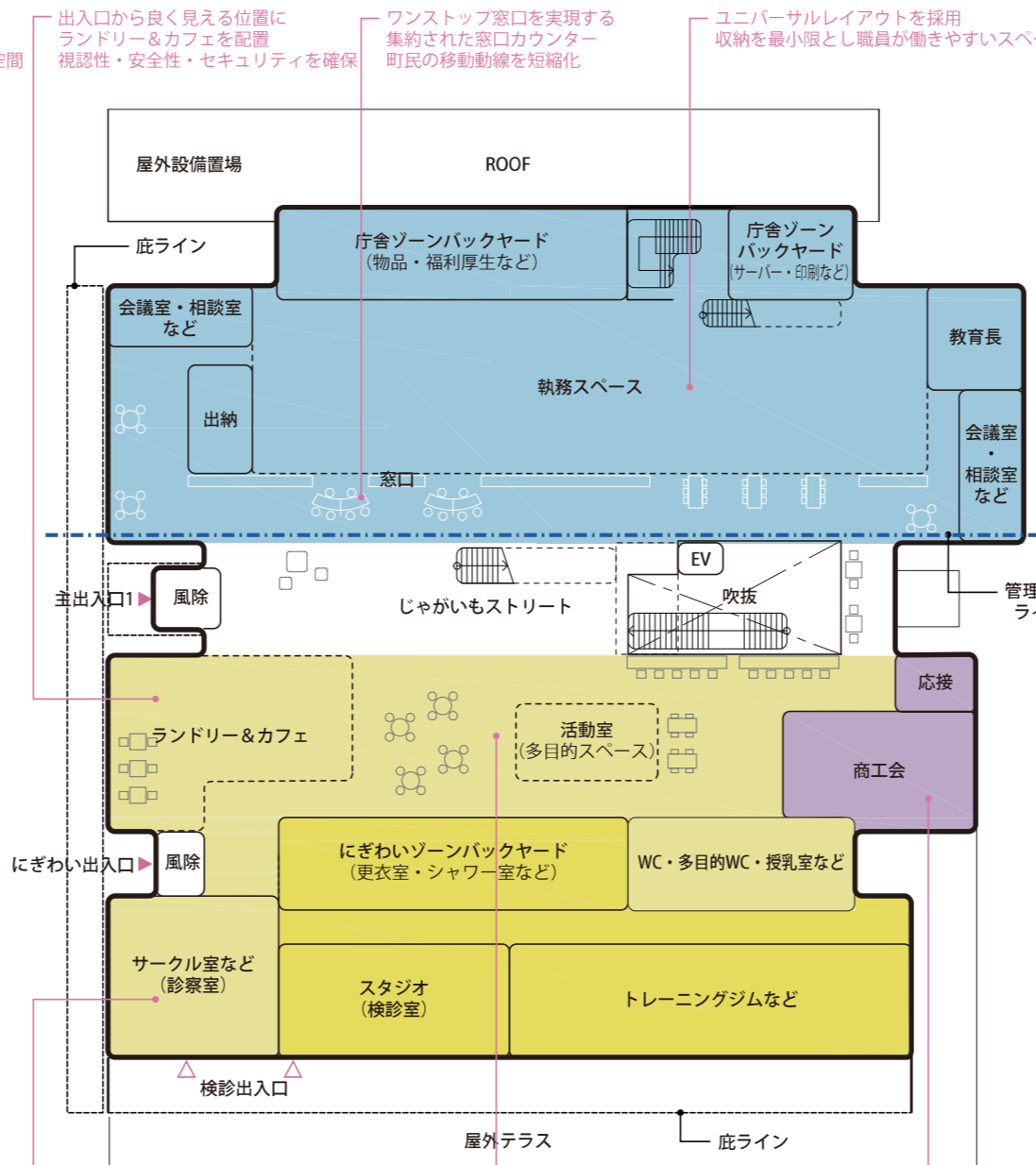
光溢れる「じゃがいもストリート」を建物中央に設け、町民が自由に通り抜け可能な新しいバリアフリー動線となります。建物を親しみやすい小さなボリュームに碎き、商店街から続く間口の小さな地割による街並みを継承します。複数の機能を利用形態に応じて短冊状に並べ、小さく個別に運用可能なエネルギー負荷の少ない建築をつくります。

## 町民が集う“いつもの”居場所

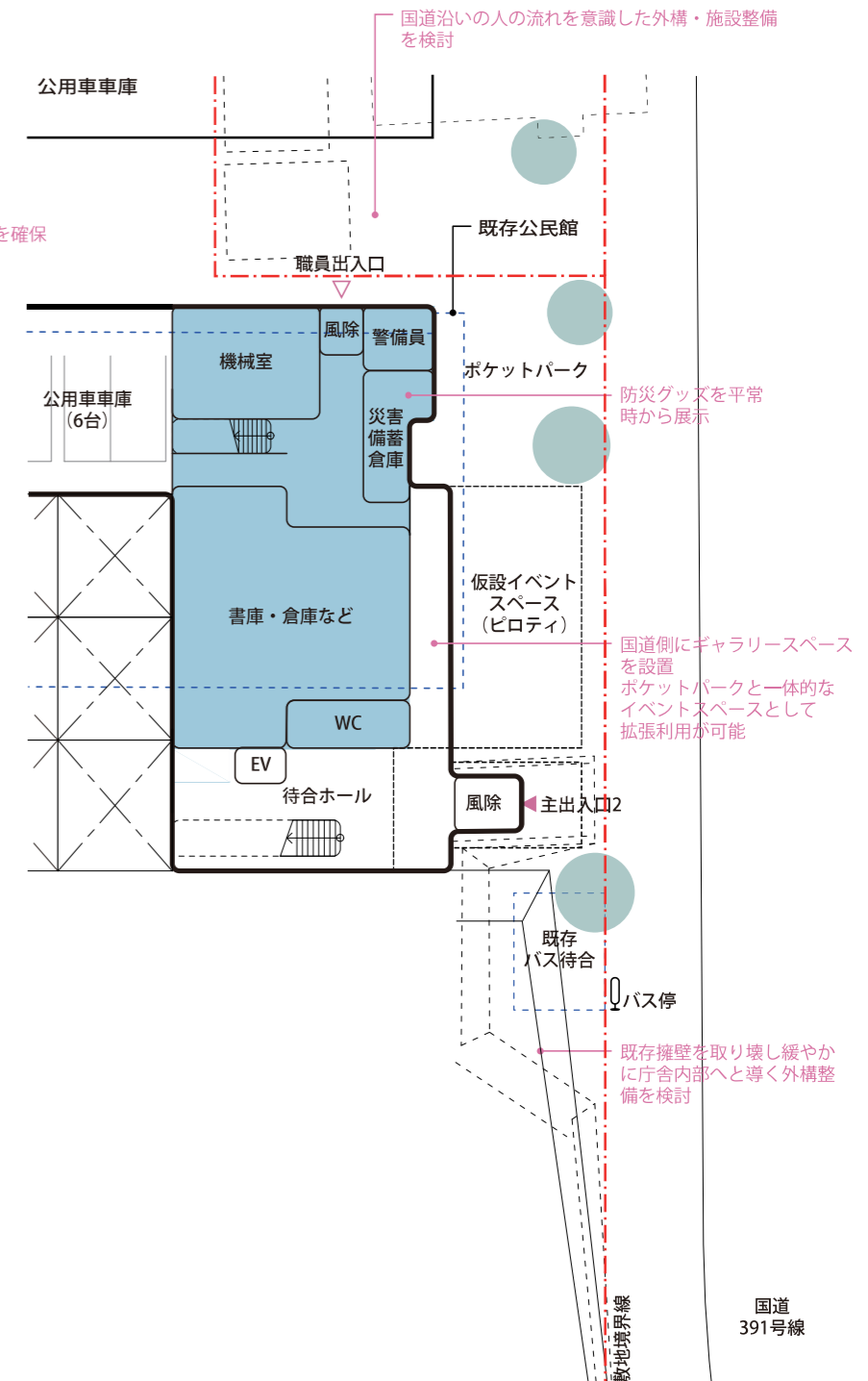
平常時から町民が集い、にぎわう憩いの場をつくります。町民の日常（飲食、洗濯、スポーツ）がこの場所で展開し、日常が集まることでにぎわいを生むサイクルを構築します。災害時にはいつもの場所で一時的に過ごし、助け合うことができる関係性を町民とともにつくります。



■2階平面イメージ



■1階平面イメージ



■地下1階平面イメージ

フィットネスで活用できる屋上ひろばを検討  
災害時における町内の状況察知

保健センターの健診機能をにぎわい空間と兼用  
上足ゾーンを集約し休憩スペースを削減

移動可能な家具什器による自由なレイアウト  
イベント時も柔軟に対応

商工会を商店街と連続する国道側に配置  
にぎわい空間の運営を担う

面積表		凡例	
地下1階床面積:	473㎡	■	役場庁舎
1階床面積:	2,108㎡	■	保健センター (役場庁舎に含む)
2階床面積:	719㎡	■	にぎわいのある空間
延べ床面積:	3,300㎡	■	商工会事務所
(公用車庫):	187㎡		

**庁舎ゾーン（執務スペース）の課や諸室の配置、カウンターの形状、また、にぎわいゾーンのランドリー、カフェ、スタジオ、ジムの配置などの詳細は、これから検討を進めます。**